

修學旅行日記

國谷高等科四年生

濱康富

大正四年八月一日

新嘉坡

我が學校兼て修学旅行、見込アリ
しが費用少ナケバ其威行如何と思ニ
ル諸先生及学務負ノ御盡力ヨリ
此企全成リ候リテ三十晉六立ニ五日間
旅行ト定レリ

十三日午前二時頃起キ支度シテ急急キ學校
ニ来リニ未だ五六人许ツ居ルニ暫クニ
夜モ明ケテ比省々集リシオバ六時三十分
岡谷學校ヲ出立リテ下諏訪モイワ
シカ通リテ落合豊橋寺ヲ經テ和田峠

ニ程リ西餅屋大餌ニ休ミ奉ニ向ケリ
暫クテ奉モ過キ半道許シテ小縣村和
田村ニ達セントセレ時淺間山、黒ノ烟ヲ噴キ
古ス屬ヲ見ル其景色畫ヨリモ秀ナリキ
カクテ和田ニ着シテ畫飯ヲ食シ次ニ長久
保ニ達セリ茲ニテ先生ヨリ柿ヲ賜ル宇一
六時三十分上丸子へ着シ丸子隨一旅館
翠川ニ一泊入

二十四日午前二時四十分起四時ニ翠川ヲ立シニ
里余ノ道ヲ忽ニ告行シテ五時五分大屋ニ

着ス七時五十分一番汽車ニテ大屋ヲ発
先フ工田ニ達ス汽車ノ窓ヨリ上田學校今
支店工田、城趾等ヲ見ルソヨリ坂城
屋城篠井ヲ過ギ九時五分長野停車
場ヘ達ス次ニ豊野浅野柏原菊山高田
等ヲ経テ役國直江津ニ達ス有名ノ五箇
如来ヘ參詣シ爾貰ノ大慈ニテ柿ヲ貰
次ニ直江津、海ヲ見ル何シオフ大海ナシバ大
波岸ニ打ケ島ノ様物懷シ古川屋ニモ
方テ晝ヲ食ス新鮮丸イナタハ美味ナリキ

次ニスタンダード石油今社ヲ見ル此會社ノ資
本一千萬圓ナウト云フ其工事莫ニ壯大ナリ
午后六時四十分後列車ニテ直江津ヲ発シ高
田園ニ拍原清人豊崎ラ過キ半后九時
五分長野市ニ帰リ五明館ニ宿セリ
予言（長野逗留午前六時既起キ朝飯終ニテ
五明館ヲ立チテ長野師範学校紀
念運動會ヲ見シ同會ヨリノ申ハニヨリ見
物ヲ足各小學ヲ校生技ヨリ機手三人を
セシテ徒步競争ヲナマリ我學校ヨリ八箇

道堀井志一林萬人三氏ヲホセニ一ニツ
賞ヲ取リ大好キ結果シ得タリ次ニ長野中
学校次ニ監獄署次ニ長野縣立議事
院ヨリ見ル次ニ長野病院又日本赤十字社
看護婦養成所次ニ長野停車場内
ノ工場ノ書ヲ見ル次ニ城山ニテ晝飯ヲ食セ
ル迄ニテ天皇陛下御平植ノ松ヲ見ル
此城山ニテ四方ヲ眺ムシバ善光寺平一眸
内ニ集リ凡景絕佳ナリ城山ニテ木山駅ハ
長野市ノ共右物ニシテ百四十疋置敷

座敷ヲ見ル次ニハミマヲ見ル次ニ善光寺

二年詣ス寺内

ニテ日清戦争ノハ捕虜ヲ

見ルソハ大砲二十一門來安鎧套榴弾、

地雷壺、軍服、斧山鉢桶弾等ナリ本

堂及山門、規模、宏大也實ニ目ヲ驚異カレ

次ニ長野縣廳次ニ市役所次ニ師範学校

学校、附屬小学校次ニ師範学校、

内部ヲ巡覽セリ后五時迄五明館ニ帰リ

宿ス此夜詔語ヨリ師範学校ニ至リ居ラル

先生ニシテ言子ヲ欣戴セリ

三十六日前四時頃起キ六時五拾分一着

済軍事ド長野ヲ出発シ七時五分以降并ニ着シ

七時三十分ニ福井山七時四十五分宿泊停

車場ヘ達スソレヨリ日序一丁長野冠着ト

ニキル八分ノ過ギ、時八分麻績ヘ八時三

十五分西條ヘ達シ汽車ヨリ下りソレヨリ歩

行シテ立堀ニ至リ晝食入食シ午後零時着

東翁摩郡、宵田學校ニ休三次月六日

原峰ニ休息シ午后五時五拾分松原町ヘ

着レ川口屋方ニ泊入

二十日午前五時起キ六時正捨川口屋ヨリ
カリ立スル前園谷ヨリ松原ニ居ラルノ木
善吉ト云ヘル人ヨリ柿ツ澤山頂戴テ
見ヨリ町内ヲ見シ先づ松本城趾及
監獄ヲ見次ニ神道祭ヲナス有名モ元祠ヲ
ル其他中学校等通工事等ヲ見テ
松本ヲ立チ去テ諏方明神ノ社ヘ休ミ次ニ夷
小島^交ニテ晝食シ又此^也村^也休ミ塩尻
ニ達^テ塩尻學校ヲ見^{マサニヤニ休ル}
入附^テ一時半^{アハ}千分ナリ茲ニテ先生ヨリ黨予ヲ
ナリキ

頂戴セリ後辰四時十分塩尻峰^ミ休
ム向フ^ラ見シバ派方湖ハ派方ノ中央ニ位レ
東ニハ岳立科山北ニ和田嶺ハ伏山南
ニ守屋岳ナドアリテ其凡景^景言語ノ及
ハ傷^{マヒ}ニテ午后五時園谷學校ニ着シ
天皇陛下萬歳因各學校首萬歳
ニ唱^テ家ニ歸^テ時八午后六時頃
ナリキ

修學詠^リ日記終^リ